

＜ 金峯山（標高 471M）のミニ知識 ＞

致道館高校山岳部コーチ 鈴木 理夫

現在の登山ルート ①青龍寺口 ②滝沢口 ③新山口 ④藤沢口

※谷定・高坂・赤坂・長滝に古道が存在(八方八口)

五老峰 金峯山・鎧ヶ峰・母狩山・湯ノ沢岳・摩耶山

(1) 修験の山

庄内の修験の山 羽黒山・鳥海山・湯殿山・金峯山 江戸時代が最盛期

明治期 神仏分離令により衰退 青龍寺は明治14年に焼失 仏像などの焼失

修行のための2つのルート

① 順峯(じゅんぷ) 金峯山からの西回りルート 金峯から熊野長峰や虚空蔵山を通り金峯へ一週間ほどかけて山駆けし、金峯に戻り17日間断食 約1カ月の修行 (初級)

② 逆峯(ぎゃくぷ) 金峯～母狩～湯ノ沢岳～摩耶山等 (上級)

山頂 金峯山神社本殿(国指定重要文化財) 修験道のご本尊である金剛蔵王権現を祀る

(2) 信仰の山

1052基の石碑(平成6年調査)が存在 江戸時代後期の文化、文政、天保期の建立が多い

供養碑 一般庶民、文芸家、藩士、学者、書家、画家、力士、寺子屋師匠など

※〇〇先生墓と刻まれているものはお墓ではなく、門人や教え子が師匠を顕彰するためのもの
五穀豊穰、商売繁栄、無病息災等の祈願、歌碑や句碑、地藏尊、伊勢講中碑など

建立者の9割が鶴岡の人 地域の人々の祈りの山としての金峯

(3) 人々の生活を支え親しむ山

金峯から南側の一帯が古い時代の地質 月山や鳥海山より前に金峯山系が存在

① 金峯石 中腹から山頂 花崗岩(硬くて壊れにくい岩石)で形成 石材として利用

鶴ヶ岡城の城石等 石切り場跡が山中に存在 切り出して青龍寺川の舟運を利用

② 名水 閼伽井(あかい)の清水(金峯神社社務所前 中の宮) 軟水 花崗岩の層が不純物をろ過 金峯山周辺は孟宗の名産地 えぐみがなく美味 水の恵み

③ 眺望 山当て 山を目標として街路を設計することで、視覚的に印象的な風景を創出する手法で、鶴岡旧市内の道は金峯に向う方向で作られた。眺めを楽しむ山として国の名勝に指定(1941年)され、一望台や八景台などの地名が山中にある。

【参考文献】『祈りの金峯山 古碑のみち』 荘司重司 1995 金峯神社

『湯田川温泉』 佐藤政太 1983 東北出版企画

「クレードル特集 金峯山を歩く」2023年7月号 出羽荘内地域デザイン

「名勝 金峯山 保存活用計画」 鶴岡市教育委員会 2018